

建築主：福井 啓介 + 福井 美穂  
 設計：株式会社かまくらスタジオ  
 施工：有限会社アイエフ  
 所在地：流山市おおたかの森南

～建築家の仕事場兼住居がまちをつくる挑戦～

## HOUSE F



つながりを感じられる俯瞰写真

(撮影/新建築社写真部)

TX流山おおたかの森駅からほど近い住宅地の角地。階を上がるにしたがって奥にずれていくグリーンな吹抜けを介して、まちに開かれた1階のカフェ兼オフィスと2,3階の住居がつながっている。ダイニングキッチンの前にはエディブルな植栽、寝室の前には安眠効果のある植栽、そして、朝日で目が覚める。建築家家族の隅々までデザインされた生活自体が、生きたショールームのよう。キッチンにある小物のひとつまでデザインがバランスを逃れられない完璧な世界。

1階を、敷地いっぱい広がるウッドデッキと一体的に使えるカフェ兼仕事場とすることで、暮らしの一部を拡張してまちの人たちとシェアするコンセプトだ。道に面する植物たちは、地域の株分けネットワークを介してつながっている。隣地との間の袋小路に面するようにゴミ集積所を提供しつながりを育む。

TX沿線では、大量供給されたひとりの郊外住宅地を反面教師に、ま

ちづくりの工夫が数多くなされている。このように、カフェの同居する建築設計事務所の上に建築家家族が生活しているようなところが近隣住区単位にひとつづらいでできると、まちはどうなっていくのだろうか。住居のトラブルの気軽な相談でカフェを訪れたことに始まって、地域に住む人たちみんなが、まちの困り事を解決し、自分事としてときにまちの決め事に参加し、都合よくまちを運営していく自治もまんざら夢ではないかもしれない。

そして、子らも巣立った何十年か先に、建築家の福井さんは今日も、屋上に上がり、城下を見渡す城主気分洗濯物を干しているだろうか。

(岡部 明子)



一階の事務所兼カフェ兼住宅



株分け植物一堂に会された斜めの吹き抜け

(撮影/TOREAL 藤井浩司)